

学校教育目標  
「自主 協力 継続」



学校だより No.15

令和6年 2月29日

自主 自ら学び、考え、行動する生徒  
協力 協力し、励ましあう生徒  
継続 粘り強く、努力する生徒

市川市立第八中学校  
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

## 学校運営協議会報告 2月27日開催

5年毎に改訂される『市川市教育振興基本計画』に沿って更新した『学校経営方針』について協議・承認を行いました。

### 令和6年度 学校経営方針（素案）

#### 1 学校教育目標

自主・協力・継続

#### 2 目指す生徒像と将来像

<生徒像>

- 自ら学び、考え、行動する生徒 **自主**
- 協力し、励まし合う生徒 **協力**
- ねばり強く努力する生徒 **継続**

<将来像>

- 様々な変化に積極的に向き合い、
- 他者と協働して課題を解決し
- 社会に貢献できる人

#### 3 目指す学校像

主役の生徒たちが生き生きと学ぶ学校

- (1) 生徒が、互いの個性を尊重し、認め合い、高め合う、笑顔の絶えない学校
- (2) 教職員が、愛情を持って「生徒のために」全力を尽くし、協働で課題を解決する学校
- (3) 教職員、生徒、保護者、地域住民が、信頼の絆で結ばれるチーム学校

#### 4 具体的な方策と取組

(優先度： 高◎ 中○ 下線：今回変更部分)

##### (1) 確かな学力

：教育課程の工夫改善および教員の授業力向上

◎『主体的・対話的・深い学び』・『探究的な学び』の推進 ◎GIGAスクール：ICTの活用推進

◎特別支援教育の充実 ○キャリア教育の計画的実践 ○生徒による授業アンケートの活用 ○授業研究および教員相互授業参観の充実

##### (2) 豊かな心

：主体的な生徒活動による自己肯定感の向上

：思いやりと命を大切にす心の育成

◎生徒会および部活動を核とした生徒活動の充実  
◎多様性社会に即した生徒指導の実践 ◎悩み・不登校・いじめ・虐待等の早期発見と解消を図る機動的な教育相談体制の整備 ◎読書活動の推進  
◎SNSのルール・マナー教育の推進  
◎考え議論する道徳の実践

##### (3) 健やかな体

：健康的で規則正しい生活習慣の育成

◎八中ヘルシープランの工夫・改善 ◎感染症拡大予防行動の習慣化 ○生涯に渡る運動習慣の基礎育成 ○災害に強い学校・地域づくり  
○安全な環境整備と安全意識の向上 ○地域と連携した防犯活動の推進

##### (4) 学校・家庭・地域連携と協働の推進

：八中ブランド力の強化

◎効果的な情報発信と学校・家庭・地域のネットワーク強化 ○教職員の危機管理能力の強化と不祥事根絶 ◎コミュニティ・スクールの充実  
○ブロック小学校及び高校との連携強化

##### (5) 教職員の働き方改革

：業務のスリム化と効率化の向上

：職場のモラールアップ強化

◎デジタル化による業務軽減 ◎スクラップ&ビルドの徹底 ◎福利・厚生企画の充実  
○部活動の地域クラブ活動への移行(国・県・市の施策に合わせて準備・検討)

## 質疑・協議内容

**確かな学力** ◇ICT活用を進めるためには、教員研修が重要である。 ◇ICTのインストラクターをボランティアでお願いすることも検討してはどうか。 ◇タブレットを家庭で使用する際のセキュリティは？ →ネット閲覧時のフィルタリング設定有り。 ◇生徒による授業アンケートの活用はどのようになっているか？ →年間2回(前後期)全教科で実施。設問は、学習指導要領が目指す学びを生徒に提供できているかどうか、検証するデータとなるように工夫・更新している。 ◇学校に入試対策や個別指導など、進学塾的な業務を求める声が寄せられるのは、家庭が塾に通わせる経済的負担も一因と考えられる。しかし、学校に求められる教育活動は、道徳教育、特別活動、探究学習、健康教育など多岐にわたり限られた人員と時間のなかで入試対策や個別指導を行うには限界がある。  
**学校・家庭・地域連携と協働の推進** ◇コミュニティ・スクール充実の一環で今年度の家庭科授業でミシン作業のインストラクターとして地域ボランティアをお願いしたように地域の教育力を活用する機会を増やしていけるとよい。

**教職員の働き方改革** ◇教職員の働き方改革の現状はどうか？ →これまでも各種業務の負担軽減を進めているが、その一方で教育制度変更に関わる新たな業務が増えるのが現状である。 ◇業務デジタル化の面では、デジタル採点システムを導入し、成績処理の迅速化とともに生徒への答案返却が早まり個別の成績資料と連動させることができるようになるなど好事例があった。

## その他

生徒会本部から学校行事や生徒会活動についてプレゼンテーションを行いました。

### 委員感想

◇プレゼンが立派で八中の子ども達がデジタル化に慣れていることや主体的、組織的に動いていることが伝わりました。 ◇本部役員の皆さんの聴衆を意識したプレゼンと作成した資料が素晴らしかった。

### 令和5年度学校運営協議会委員

- 相浦 敦(県立市川工業高等学校長)
- 石井裕昭(京葉ガス株式会社)
- 戸田悦子(民生児童委員)
- 角谷好枝(市川市統括コーディネーター)
- 喜々津信恵(学校支援コーディネーター)
- 二村順子(学校支援コーディネーター)
- 永田博彦(元学校教育部長：八中OB)
- 平田朋子(前PTA役員)
- 佐藤一彦(PTA会長)
- 石山ことみ(PTA副会長)
- 学校代表者(校長・教頭・教務主任)
- 市教委：学校地域連携推進課担当者

※学校運営協議会は、公開義務があり、傍聴が可能です。傍聴希望および今後の日程等については、学校(担当：教頭)までお問い合わせください。